

ポールシェラー研究所（スイス）における研究活動の遂行

物理学専攻 博士課程2年 宇佐見正志

私は今回、Stefan Ritt 氏の受け入れの下、スイスにあるポールシェラー研究所に 2019 年 10 月から 2020 年 2 月まで滞在し、ミューオンが陽電子とガンマ線に二体崩壊する事象を世界最高感度で探索することを目標にする実験（プロジェクト名：MEG II 実験）に参加しました。

特に今回の滞在中は、検出器コミッショニングを行っており、私は陽電子時間検出器の運用やデータ取得、運用後のメンテナンス作業などを行いました。写真は、コミッショニングを終えた後に、共同研究者の方々と実験エリアから検出器をアンインストールする作業を行っている写真です。加えて、陽電子軌跡検出器と組み合わせて陽電子のイベント再構成を行うための解析アルゴリズムの開発やコミッショニングで取得したデータの解析等のソフトウェア作業も主導しました。

5 ヶ月間、世界中から集まった研究者の方々とともに共通の目標達成に向けて研究活動を遂行するというのは、非常に有意義な経験でした。

